



サザナミ

利用者の抱負

ケガをしないように過ごしたい。

(崇嘉)

今年こそグループ実習休まずにがんばります！

(正巳)

怪我をしない様に過ごす

(俊哉)

美味しいご飯を食べる

(恭平)

毎日、楽しく過ごす。

(隆明)

美味しいコーヒーを飲めるよう健康に過ごします

(清)

良く働き・良く食べる

(賢治)

美味しい物をいっぱい食べます。

(拓也)

健康で、毎日元気に過ごす。

(功博)

家族みんなで好きな物を食べたい

(直人)

体調に気を付けて過ごす。

(勇)

毎日楽しく健康に過ごしたいです。

(伸和)

健康に気を付けて、美味しい物を沢山食べたい。

(知之)

運動を頑張る、美味しい物をたくさん食べたい

(肇)

元気に好きな物をお腹一杯食べたい

(龍司)

毎日健康で、笑顔で過ごす。

(大作)

毎日元気に、美味しい物を沢山食べた

(隆行)

健康で美味しい物を食べ楽しく過ごします。

(次郎)

お父さんお母さんと一緒に食事がしたいです

(直樹)

2025年 あけましておめでとぅございます

＜ミッション＞ 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。
＜ビジョン＞ 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。



健康で笑顔が絶えない一年になりますように。

(和彦)

美味しいご飯を沢山食べて、作業を頑張る！

(忠弘)

怪我無く健康に過ごしたい！

(洋)

お出掛けをして美味しい物をいっぱい食べたい！

(勝己)

健康第一に、毎日、楽しく過ごす。

(伸泰)

今年も元気に過ごす

(哲)

自立元年で、さらに自立を。地域生活を目指す。

(順二)

明るく元気に過ごせますように！

(諒)

健康に元気に過ごします。

(直行)

怪我無く元気に過ごしたい

(裕輔)

成田山新勝寺へお参りに行きたいです

(功)

絵を楽しみます

(陽)

今年も健康にグループ実習でがんばります！

(陽介)

健康に気を付けながら、美味しい物を沢山食べたい。

(讓二)

笑顔で過ごし、美味しい物を沢山食べます。

(健夫)

もう少し、仕事が出来るようになります。

(美由紀)

お仕事がんばります。

(康恵)

イライラしないで穏やかにがんばります。

(麗子)

色々な所に遊びに行きたいです。美味

(美千代)

笑顔いっぱいキラキラな毎日を過ごしたいです。

(潤子)

お出掛けしてパンケーキを食べたい♡

(祐子)

ジャムのお仕事がしたいです。(理恵)

(香織)

お休みに喫茶で美味しいものが食べたいです♡

(泉)

元気に過ごせますように♡

(順子)

お仕事をがんばっておいしいものを食べに行きたいです。

(純子)

今年もお仕事がんばるぞう!!

(雅子)

きゅうり切りがんばります。(真砂子)

(明子)

家族みんなで楽しい時間を過ごしたいです。

(昌子)

元気に過ごして、お出かけしたり好きな物を食べたりしたいです。(文子)

(あけみ)

健康第一

自分に出来る事を考えて、与えられた仕事を大切にします。(由紀)

いっぱい運動して、いっぱい食べて、笑顔いっぱい楽しく過ごします。(侑子)

健康第一で皆さんと仲良く、今迄出来なかった事を一つでも努力を(清伸)

おいしい物をたくさん食べて、楽しく毎日過ごしたいです。(文宏)

2025年の乙巳(きのとみ)の年は、多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高く「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味します。この組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しています。目標に向かって焦らず粘り強く取り組む姿勢が重要です。毎日が楽しく充実した生活が送れるよう支援してまいります。

年頭のご挨拶

社会福祉法人 榎の里 理事長 岡部 一 邦

明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

既に歴史の一齣となった2024年ですが、フランス・パリオリンピックでの日本選手団の活躍や大リーグ・大谷翔平選手の50・50の偉業達成などに感動する一方、ロシアのウクライナ侵攻そしてイスラエルによるパレスチナ自治区ガザ地区への連日の猛攻によって罪なき市民の生命が日々奪われる惨状が続いております。

各国の努力により1日も早い停戦と平和が実現することを祈るばかりでございます。

また、国の内外の政情も激変に見舞われ、国内では先の衆議院選挙で、自公与党が過半数割れとなり、何とか石破第二次内閣が開始しましたが、難しい舵取りが求められるところです。

またアメリカでは、トランプ氏が大統領選に圧勝し、上院・下院ともに共和党が過半数を占め、所謂トリプルレッド状態となつて、トランプ氏が掲げる特異な政策が次々と現実化してくることを世界が危惧しております。

そうした中で、学園生活におきましては、「ウィズコロナ」に留意しつつも、日中活動や余暇活動、季節の行事などで、心豊かな日常生活の実現に努めて参りました。

恒例の「榎の里祭」には大勢のお客様にご来園いただき、盛大に開催することが出来ました。

また、12月8日に「地域交流ホーム」での「創立40周年式典」では太田市長様をはじめ理事・監事・評議員の皆様のご来賓をいただき、利用者の皆さん、保護者の皆さん、そして職員による「内祝いの会」を和やかな雰囲気の中で、つつがなく開催することが出来ました。

さて、内憂外患の中で迎えました今年の干支は、「十干の乙と十二支の巳」の組み合わせから「乙巳（きのとみ）」で、乙は草木、巳は蛇を表すことから「再生・変化をしながら柔軟に発展していく年」になるともいわれております。

学園では、今までの実践の成果をしっかりと検証するとともに、時代の要請に応える処遇体制の確立を目指して、50周年に向け第一歩を踏み出す年にしたいと考えております。

そして利用者の皆さんが大切な日々の生活を心安らかに送ることが出来るよう、「終の住処」としての実実の強化に努めて参りますので、引き続き皆様のご指導ご支援をお願いいたします。

皆様には新年が穏やかで幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年始に思うこと

支援課長 軽 込 進 一

新年明けましておめでとうございます。

令和七年が始まるにあたり、支援現場を総覧して考えてみたいと思います。

まず利用者の虚弱化についてです。令和六年は利用者の入退院が繰り返される年でした。今までの既往は骨折などといった外疾患であつたのですが、現状では心不全、尿路感染、肺炎等の内疾患が中心となっております。もちろん利用者への健康観察は入念に行っていますが、それでも重篤化を防ぐことが難しくなってきました。対策をとることは生易しいことではないですが、いくつか実施に向けて進めていきたいと考えています。いすみ学園では「はたらく機会を保障する」ことを開設当初から大切にしてきました。労働を通じてた体づくりを行ってきました。しかしそれだけでは補完しきれなくなつてきているのです。よって労働以外の時間帯に散歩やストレッチなどの運動を取り入れていて、その取り組みを加速させていきたいと思っています。また健康観察には一定の医療知識も有用です。それぞれの疾患に合わせた観察方法などを看護師から学ぶ機会を増やしていくつもりです。

つぎに地域移行に対してです。前年度の報酬改訂で令和九年度までに定員の三〇五％の地域移行を求められています。また虐待防止・身体拘束適正化も同様の取り組みが必要です。とはいえ学園では二つのグループホームを利用した地域移行はすでに済んでいるという理解もあり、この問題は難航していると言つてよいでしょう。文書だけで終始することなく、利用者にとつてどのような環境が真の意味で暮らしやすく、なおかつ彼らの意思決定を支えることができるのか、真剣に考える良い機会であると考えられています。

最後に発達障がいと痴呆との関係性の問題です。研究の進まない分野であり研修も少ないのですが、学園でもこの二つの障がい混在していると言わざるを得ない病態を示す利用者が複数見られるようになりました。我々もその対応については困惑を隠せないところも多く、中々苦慮しているというのが現状です。とはいえ日常の支援は進んでいきますので手をこまねいていることもできません。とにかく「丁寧に接すること」「否定しないこと」「相手に正対すること」などといった痴呆症高齢者に接する際の基本的なことを守りつつ対応を続けています。

どのような症状が出ようとも一緒に成長を続けてきた仲間として大切に见守つて支えられる年にしたいと考えています。

槇の里祭

十月二十六日、第三十七回 槇の里祭が無事に終了しました。今年のテーマは「感謝」です。創立四十周年を迎えるにあたり、このテーマを掲げることにいたしました。

今年は初めての試みとして、キッチンカーの出店や、東急デハ3455の車内での、ウェルカムドリンクの提供を行いました。どちらも盛況で多くの来場者に楽しんで頂くことができました。

オープニングでは国吉中学校吹奏楽部による素晴らしい演奏が響き渡り、来場者の心をつかみました。ステージイベントでは外房チアリーディングのパフォーマンスが大いに盛り上がり、観客との一体感を生む演出が印象的でした。また、中の島太鼓の演奏では観客も参加する形で演出が大好評を博しました。ジャンボリミッキューも盛り上がりを見せ、音楽やダンスを通じて皆さんの笑顔が溢れる瞬間が多く、私たち職員にとっても嬉しいひとときでした。

恒例の激安バザーも大盛況で、地域の方々との交流の場となり感謝の気持ちでいっぱいです。多くの方々のご協力と参加があったからこそ、素晴らしい学園祭になったのだと実感しています。

今後も地域の皆様と共に心温まる学園祭を企画していきたいと思えます。本当にありがとうございます。

(支援員 高地 優輔)



「作業班販売」



「外房チアリーディング」



「電車内でコーヒーの無料サービス」

「皆でダンス」



「中の島太鼓」



「恒例バザー」

「国吉中吹奏楽部」

「育てた朝採れ野菜」

石けん班

7/11～12 熱海の旅。温泉・ご当地グルメ・観光スポット・夜景…存分に楽しんできました！



加工班

6/27～28 茨城県大洗へ。シーサイドステーション、マリンタワー、アクアワールドと海三昧の旅。海が見える大洗磯前神社でしっかりお参りもしてきました。



グループ実習班

令和6年9月5、6日に「宮城県仙台市」へ旅行に出かけました。今年はグループ実習が始まり30年の節目という事もあり、久しぶりに新幹線を利用しました。



9月19・20 鴨川シーワールド・亀の井ホテル鴨川・東京ドイツ村へ行き、シャチのショーやドイツ村にあるアトラクションなど堪能し、有意義な時間を過ごせました。

外作業班



万木工会班

11/14~15 南房総へ旅行に出かけてきました。東京ドイツ村では、アクティビティを楽しみ、宿泊した亀の井ホテル鴨川では、バイキングの美味しい料理をたくさん食べてきました。



9/26~27 成田ゆめ牧場へ行き・亀の井ホテル九十九里・一宮、シーサイドオオツカにて、旅行の締めとして、温泉につかり、日頃の労を癒しました。



地域活動班



万木工舎班

「いすみ市 ヴィラそとぼう」



万木工舎班はヴィラ外房で食事をしました。広々とした店内でゆっくりとランチバイキングを楽しみました。皆さん好みの料理をたくさん食べて大満足でした。

文化活動班

文化活動班は茂原にある「とんでん」で食事をしました。皆さん楽しい雰囲気の中食事をしました。その後は買い物やドライブをして1日を満喫しました。

「とんでん 茂原」



冬のボーナス外出

12月6日

大多喜県民の森を散策。睦沢町の「小高」へ行き、昼食を楽しむ。クリスマスプレゼントを購入後、一宮町の釣ヶ崎海岸で記念撮影をしました。

「大多喜町
オリブで買い物」

「一宮 釣ヶ崎海岸」

**外作業班**

午前は御宿町の月の砂漠記念公園へ、川沿いを散歩しながら像の前で記念撮影。いすみ市の女良食堂にて昼食を食べました。

「月の砂漠記念公園」

**地域活動班****石けん班**

「千葉ポートタワー」



石けん班は千葉ポートタワー地上109mからの景色を眺めながらハーフビュッフェのランチを楽しんで来ました。タワー内では装飾などを見学してクリスマス気分も味わうことができました。

鴨川方面へ。ラクゾー鴨川店にてボウリング大会。利用者も職員も久しぶりのボウリングで盛り上がりました。「伊せや」にてランチを食べた後クリスマスプレゼントの買い物をしました。

「鴨川 伊せや」

**食品加工班**

「ラクゾー鴨川店にてボウリング」

**グループ実習班**

「長生村 一松海岸」



グループ実習は、食事場所の希望が中華と洋食に分かれました。今回中華組が茂原市の「三軒家」、洋食が同市の「びっくりドンキー」へ行って来ました。

「びっくりドンキー」





去る十二月二十日(金)クリスマス忘年会が昨年と同様『鴨川グランドホテル』にて開催されました。席に着くと、テーブルの上に置かれたトナカイのカチューシャや三角帽子を笑顔で身に付ける姿があり、明るい雰囲気の中始まりました。

理事長の挨拶後、利用者代表による挨拶による乾杯の言葉を合図にテーブルいっばいに並べられたチキンやローストビーフ、サンドイッチ、ケーキなどの様々なクリスマスメニューを美味しく頂きました。美味しい料理でお腹が満たされた所で各班による趣向を凝らしたトピックスの発表や職員による余興でクリスマスソングを歌い盛り上がっていました。サンタクロースからのプレゼント贈呈では皆さん笑みがこぼれていました。

楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

今年もクリスマス忘年会を開催し、無事に終えることができた事を心から感謝致します。

ご協力頂きました『鴨川グランドホテル』の関係者の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

(支援員 鶴澤 美帆)



サンタからプレゼント



みんなでクリスマスソングを歌いました



食事会



職員余興



ポッポの丘見学バスツアー 御一行様

いすみ学園
東急デハ3455 特別見学会

十二月一日、小田急線2200形ポッポの丘公開ツアーの一環として、いすみ学園のデハ3455特別見学会が実施されました。

当日は、お客様十五名が来園され、電車内外の見学及び撮影をされました。学園からはウエルカムドリンクを提供させて頂いた、ゆつくりと寛げる空間をおもてなし。スタッフの方が電車の音を流してくださり、まるで本当に電車が走っているような雰囲気でした。今回、このような企画を提案していただきありがとうございます。今後、電車を通じていすみ学園を知ってもらえる機会を増やしたいと思っています。

(支援主任 吉田 友希)

いすみ学園 40周年記念式典より

いすみ学園40周年記念式典を地域交流ホームにて、保護者の皆様と利用者、職員一同でお祝したところです。来賓祝辞ではいすみ市長の太田 洋様より地域社会に根差す取り組みを続けてきた私たちに与えては励ましとなるメッセージを賜りました。今後利用者の幸せ作りを応援していきます。

(施設長 堂下 勉)



利用者2名代表挨拶



いすみ学園歌斉唱



鈴木 晃 様



井口峰幸 様



森 和也 様

3名へ感謝状と記念品の贈呈

この本の著者でもある東田直樹さんは、会話の出来ない重度の自閉症の方です。ですがパソコンおよび文字盤ボイキングを訓練した事によりコミュニケーションが取れるようになりました。

平易な言葉遣いで淡々と人々の反応に対する思いが書かれていて、今現在いらつしやる利用者様の行動等と重ね合わせながら読み、私は、まだまだ利用者様の気持ちを理解出来ていなかったと痛感させられました。発言や行動の裏でどのように考えているか、理解していたつもりで分かっていたいなかったんだと思いました。

本文の中で、本当の優しさというのは、相手の自尊心を傷つけない事だと思ふのです。

自分が辛いのは我慢できます。しかし、自分がいることで周りを不幸にしている事には、僕たちは耐えられないのです。

障がいのある無しに関わらず人は努力しなければいけないし、努力の結果幸せになれる事が分かったからです。自分を好きになれるなら、普通でも自閉症でもどちらでもいいのです。という文章に東田さんの強さや様々な葛藤、努力、思いが詰まっていたとても感銘を受けました。

関わり方や見え方、一人一人の障がいも一人一人の個性として捉えて支援していきたいと思いました。

(支援員 奥野 貴成)

「自閉症の僕が跳びはねる理由」
東田直樹著

図書コーナー

感謝録

次の皆様方から、たくさんの御寄附を頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

〔寄附者〕

- ・(株)ナカイ・菊池薫・千葉県ヤクルト販売(株)・皆川会計事務所・やまじゅう海老屋・ブルドックソース(株)・千葉トヨタ自動車(株)大多喜・三菱重工冷熱(株)千葉営業所・朝日新聞店夷隅大原・(株)第一興商・千葉日産自動車(株)茂原店・(株)秋葉商店・リコージャパン(株)・コカ・コーライーストジャパン(株)・ジャパンフーズ・佐藤元明・(株)メラマック千葉営業所・ジブラルタ生命保険(株)高橋康弘・(株)レオック・みどり産業(株)・岬山野草クラブ・相沢雅代・八巻知恵美・川村優子・畠中良江・松平よし子・川西一壽・森孝子・泉上里利・伊藤晴子・三池隆・斉藤みね子・座間由美子・いすみ鉄道・北山静香・宗孝子・浦野朋子・土屋好江・入江亜紀子・片山弘恵・池田友子・磯野久子・星野未来・金順寅・飯島せつ子・佐藤幸子・関百合子・細谷雅子・亀山紀子・市村陽子・高玉かつ子・大平ともえ・小林悟・藤平俊幸・竹内詠子・小嶋智穂・藤江裕・實方悦子・杉本昌樹・大山友紀・田眞一・大和久正人・守谷明紀・大沼泰之・匿名希望1名

編集後記

「新春万福」皆様にあくさんの幸せが訪れる一年でありますように。本年もどうぞよろしくお願い致します。

(さざなみ担当 末吉・土屋・是枝)

題字は 重田隆行 さんです。